

平成29年度 職員提案審査会 審査結果

		①	②	③
		伊賀嵐マイを伊賀市シティプロモーションの『顔』に	家族でつくろう、ケータイ・スマホの約束	タブレットによる窓口・相談業務のサービス向上
判定区分	実施・実施検討・研究課題・保留・実施困難・実施不適・実施済	実施検討	実施検討	保留
褒賞	最優秀・優秀・佳作	佳作	—	—
審査会コメント	判定区分に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・実施することによる効果は期待できる。 ・ターゲット、他キャラクターとの住み分け、著作権など実施に向けては調査研究すべき課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案の背景にある課題については認識しており、提案の目的も理解できる ・一方で、この方法(提案内容)で課題解決に向けた実現性が担保できるかについては疑問が残る。 ・免許状を受け取った生徒へのフォローアップや、子ども達が免許状が欲しいと思うインセンティブについての検討が必要である。 ・携帯を持っていない子への対応・配慮が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットで何ができるのかについて、より具体的な整理が必要である。 ・例えば、ひとえに外国人対応といっても、病院、消防など窓口も様々であり、1つの窓口に設置すればよいものではないことから、費用対効果の面で精査が必要。 ・現時点で、各課からタブレット設置に関する具体的な要望があるとは言えない。 ・マイノリティの方への対応は、「対面・寄り添う」要素も大事である。
	褒賞に関して	事業の効果について他市事例も取り入れながら説得力のある提案がなされた点が評価できる。		
	実施検討のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権に関する精査を行い、合理的な判断の中でできる事を検討すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校単位での実施やモデル校による先行実施も考えられる。 ・行政からの押し付けではなく、保護者(PTA)、生徒会を巻き込んで実施する必要がある。 	
担当課(関係課)	総合政策課(観光戦略課)	学校教育課		

【総括】

・昨年より実施する職員提案掲示板での意見交換が活発化したこともあり、各提案とも検討の熟度が高く、また、審査会でのプレゼンテーションにも工夫が見られた。

・シティプロモーションに関連する提案が多く見られた。

		④	⑤
		伊賀市庁舎を知ろう。 庁舎の価値を知り、伝え、活用しよう。	地下道のケース展示の情報を充実させる
判定区分	実施・実施検討・研究課題・保留・実施困難・実施不適・実施済	実施検討	実施検討
褒賞	最優秀・優秀・佳作	佳作	優秀
審査会コメント	判定区分に関して	<ul style="list-style-type: none"> ・イコモス「日本の20世紀遺産20選」に選ばれた重みや、その価値を学んでいく必要がある。 ・うまくやれば日本中の人々に認知していただけるチャンスである。 ・来てもらって知ってもらうための、観光コンテンツとして有効活用する具体策を検討すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐにでも取り組むべき市の課題である。
	褒賞に関して	今取り組むべきタイムリーな提案である点が評価できる。	多くの職員が日頃から認識していながら、取り組めていなかった課題の解決に向け、踏み出すきっかけとなった点が評価できる。
	実施検討のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・語り部の養成、冊子作成・情報発信など、具体的に何をすべきかについて検討すること。 ・建築士会など外部との連携も検討すること。 ・取り巻く社会情勢や市政の状況を考慮しながらスピード感をもって検討を行うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光、若者活躍などターゲットとする要素を広く検討すること。 ・テーマ、季節性なども考慮すること。
担当課		中心市街地推進課 (総合政策課) (管財課)	総合政策課 (観光戦略課)